

2023年3月2日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

インドネシア日本友好イベント

同国の伝統楽器アングルンで地域住民や留学生が交流

せき桐ヶ丘教育・福祉連絡会と中部学院大学ならびに同短期大学部は、インドネシアの伝統楽器「アングルン」による交流会「桐ヶ丘よりあい広場」を開催し、地域住民や特別支援学校に通う生徒、大学などに通う留学生らが交流を図ります。

同連絡会は、関市桐ヶ丘地区にある教育機関や福祉施設と連携し、交流や研究を進めています。今年2月には本学留学生と南ヶ丘小学校の児童が異文化交流を行いました。一方、本学には、インドネシアからの留学生が多数（2023年3月1日現在13名）在籍し、インドネシアとの国際交流・異文化交流の推進に前向きに取り組んできました。昨年6月には、アングルンによる特別講義「合奏ワークショップ」を開催。同国の駐日大使館との接点が生まれ、8月にはインドネシア教育大学と学術交流を深める協定を結んでいます。

アングルンは、竹から作られた打楽器で、2010年にユネスコの無形文化遺産に登録されました。講師を務めるアルディアン・スマルワン氏は、同国西バンドン市の首席アングルン奏者で、同市のアングルンによるプロモーション活動のプロデューサーを務めたり、国立中学校で指導にあたりしています。

今回のイベントは、同連絡会の取り組みの一環。インドネシアと日本が国交樹立65周年を迎えたことなどに関連し、だれでも気軽に親しめるアングルンで一緒に合奏しながら、多様性や異文化に触れ、交流を深めます。参加を予定しているのは、地域住民をはじめ、近隣の特別支援学校の学生、本学留学生ら約80人です。

そのほか、イベント前日の12日（日）には、インドネシア大使館が主催するインドネシア日本友好デー（IJFD）の一環として、本学各務原キャンパスで、在日インドネシア人を対象とした「大使館業務出張サービス」が開催される予定です。

記

- 日時 2023（令和5）年3月13日（月） 13時30分～15時
- 場所 中部学院大学 関キャンパス グレースホール
（関市桐ヶ丘2丁目1番地 TEL.0575-24-2211）

- **参加者** 地域住民、関特別支援学校、中濃特別支援学校の生徒
中部学院大学・同短期大学部の留学生 ほか

■ **プログラム（予定）**

- 13:00 受付開始
13:30 開 会
13:40 模範演奏
14:00 セッション（ワークショップ）・交流会
15:00 閉 会

■ **主 催**

せき桐ヶ丘教育・福祉連絡会 中部学院大学 同短期大学部

■ **後 援**

駐日インドネシア共和国大使館 関市

【備 考】「せき桐ヶ丘教育・福祉連絡会」

障がい児者にかかわる教育と福祉の交流・研究の拠点づくりを目指し、各機関の実践や知見を学び合うと共に、子どもから大学生、成人などエリアで生活する人々の人的交流を活発にし、障がいのある人もない人も共に生きる地域づくりと障がい児者の教育、福祉に取り組む人材育成を図ることです。また、交流の中で生まれた実践や知見は、他の地域にも発信し、障がい児者の教育と福祉に携わる人々への啓発と支援を行い、福祉社会の実現に貢献することも視野に入れ、活動を展開しています。

※この事業は 2022 年度岐阜県私立大学地方創生推進事業費補助金の対象

【参加機関】

ひまわりの丘学園、中濃特別支援学校、関特別支援学校、関商工高等学校、南ヶ丘小学校、南ヶ丘保育園、桐が丘幼稚園、介護施設愛の家、中部学院大学、同短期大学部

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学・同短期大学部 せき桐ヶ丘福祉エリア研究会（担当：小野木）

TEL：0575-29-3515 FAX：0575-24-9432

E-mail：onogi-norio@chubu-gu.ac.jp